



Vol.2

ナニライ Researchers★

山梨大学の研究者達

ナシナイ**
Researchers★
山梨大学の研究者達

Vol.2



ナシダイ
Researchers★
vol.2
の
発行によせて

仕事の楽しさ。

あなたにとって、それはどのようなことだと思いますか。

生活の充実。

社会人になったあなたはどんな毎日を送るのでしょうか？

ナシダイには、
社会人の先輩がたくさんいます。

でも、そんな目線で周りを見たこと、ありますか——？

「ナシダイ Researchers」では
先生として、そして研究者として働く方々を紹介します。

仕事の成果は、地域へ、社会へ、そして世界へとつながる研究者の仕事。

一体どのようなやりがいがあるのでしょうか？
そしてそんな研究者はどのような生活を送っているのでしょうか？

「ナシダイ Researchers」で
研究者の秘密が、きっとわかるはず。



Coの花姫
山梨大学男女共同参画推進室
マスコットキャラクター



C O N T E N T S

- P02 室長よりご挨拶
- P03 研究者の紹介
 - P04 ・田中 勝 (教育人間科学部 教授)
 - P06 ・長谷川千秋 (教育人間科学部 准教授)
 - P08 ・久保田健夫 (医学部 教授)
 - P10 ・中込さと子 (医学部 教授)
 - P12 ・鳥山 孝司 (工学部 准教授)
 - P14 ・渡邊 寛望 (工学部 助教)
 - P16 ・大山 盛義 (生命環境学部 教授)
 - P18 ・乙黒 美彩 (生命環境学部 助教)
 - P20 ・伊藤 孝恵 (センター 講師)
 - P22 ・中村 高志 (センター 特任助教)
- P24 研究者の仕事をお手伝い!キャリアアシスタントって?!
- P26 ナシダイマップ (甲府キャンパス)
- P28 ナシダイマップ (医学部キャンパス)
- P30 女性研究者支援室から男女共同参画推進室へ
- P32 制度紹介
- P36 編集後記

室長よりご挨拶

これまで「女性研究者支援」を行ってきた女性研究者支援室は、「男女共同参画推進室」となりました。これはつまり、今後は誰もが働きやすい、学びやすい環境を整えることを使命とする組織になることを示しています。

「女性研究者支援」とは、ライフイベントによってキャリアが停滞し、その結果、なかなか上位職になれない、もしくは離職してしまう――、女性研究者における、そういったことを防ぐための「措置」です。女性は出産や育児によって、必然的に仕事を一端休まなくてはならないため、キャリアの停滞はあたりまえの社会が少し前までありました。

現在は、女性活用の流れを受け、女性の登用が盛んに行われるようになった半面、それぞれの組織にいる少ない女性に仕事が集まり、窮屈な思いを抱える女性も増えています。

ナシダイでは、「女性研究者支援室」を中心に、女性研究者支援の土壌を整えてきました。

これからは「誰もが」働きやすく、また、学びやすいナシダイであることを目指していきます。

ナシダイ Researchers☆では、研究を仕事として活躍する研究者を紹介しています。いろいろな人のそれぞれの生き方を見て、ぜひ、自分のこれからの未来を楽しく考えてみてください。

山梨大学生命環境学部 教授
男女共同参画推進室 室長

風間ふたば



田中 勝



長谷川 千秋



久保田 健夫



中込 さと子



鳥山 孝司



NASHIDAI Researchers

研究者の紹介

ナシダイで活躍する研究者たちをご紹介します！
Vol.2ではNo.8-No.17までを大公開。

渡邊 寛望



大山 盛義



乙黒 美彩



伊藤 孝恵



中村 高志



過去と現代、そして教育を「住」から考える!

08 Masaru Tanaka

NASHDAI
Researchers



教育人間科学部 社会文化教育講座 教授

田中 勝さん

Profile

国立豊田高専建築学科卒業、豊橋技術科学大学工学部建設工学課程3年次に編入学、修士課程修了後、博士後期課程(システム情報工学専攻)に進学(1期生)、D3時に日本学術振興会特別研究員に採用

Career

取得学位：工学博士(豊橋技術科学大学)
豊田高専建築学科助手、講師、助教授と母校で7年間勤務後、山梨大学教育学部家政学教室に着任、改組(改組のため、平成10年度より国際共生社会課程共生社会講座へ、平成24年度からは再び家政教育系へ)を経て現職
高専卒業→大学3年次に編入→大学院修士課程修了→大学院博士課程修了・学位取得→助手→結婚(春休みだった)→講師→助教授→教授

私の研究はコレ!

「住」の歴史そしてこれからの教育に つながる

現在の研究テーマは主に「歴史的町並み・集落の保存・再生と地域協創の住まい・まちづくり」「住教育(住まいまちづくり学習)研究」「住まいの地方性地域性研究」の3つの全国108カ所の重要伝統的建造物群保存地区の調査や、現代住宅や古民家のパーパークラフトを教材として開発し、小・中・高等学校の家庭科や総合的学習に提供しています。また、気候・風土の異なる各地での住まいの多様性(意匠、空間構成、間取り、住宅規模、住み方など)とその変容過程を明らかにするべく、日々研究をしています。

ここが魅力でやめられない!

貢献する実感

学生時代から指導教官(故・三宅醇先生)に言われていた「役に立つ」研究ということでしょう。社会的な問題の構造や矛盾を把握しその解決方法を考えることを常にしてきました(問題解決型研究)。学生時代には研究の成果が、名古屋市の住宅政策に取り入れられたことも。また、全国いろいろなところに行き、住まいだけでなく、歴史や文化、人情、郷土食、お酒など、その土地の暮らしをまるごと肌で感じ取れることも魅力です。子どもの頃は全く興味も関心もなかった住宅・都市の世界に入ってよかったなーと、最近をよく思います。そして、もうひとつ、自分の興味や思いを次の世代に伝えていける今の仕事にやりがいを感じています。卒論指導のおずかなつきあいのなかで学生が格闘し、大きく成長し、困難な教員採用試験にパスして教員になっていく姿を見送るのも幸せを感じるときです。

大変なことも、たまにはあるさ

論文をまとめる 時間がなかなか とれない

研究に専念する時間も少なくなったし、年齢とともに集中力も衰え、新しい発想も出にくくなりました。研究を発展させるにも研究費や人材(学部生や院生)が必要で、思うようにはいかないけれど、毎年科研費等を得て、好きな研究ができるのは幸せなことと思っています。
もう一つあげるとすれば、「わからないことがあってもなかなか人には聞けない」とこの大学院修了後、指導教官に質問をしたことがあったのですが、「君は学位を取ってもう一人前なのだから自分で考えなさい」とのそれ以来、全て自分で考えて解決するようになりました。学生の皆さんは質問できる今のうちに、何でも貪欲に吸収することをお勧めします。

My favorite things!

コレがあるから頑張れる!

大変なときを乗り越えたり、いい研究成果を残すにはちょっと気分転換も必要。ここでは研究者達の頑張るヒケツを教えちゃいます☆

ストレス解消法!



家庭菜園や庭いじりで ストレス解消

いえ、まあ、疲れるんですがね。もくもくと庭の草取りをするのも気分転換につながっています。

ココロの癒し



温泉

今から10年くらい前に全国600カ所くらいを湯破しました(今はもう教えていませんが)。山梨で温泉に詳しい人間ということでYBSラジオに出たり、地元新聞で何度か記事にしていたことも。温泉巡りに熱中していたときは、青森1泊2日の旅行中に10カ所以上の温泉に入ったこともあります。

頑張る自分へのご褒美はコレ!



コーヒー、バナナ

コーヒーは毎日、自宅で朝1杯、大学で2~3杯は飲みます。昔は豆から淹れていましたが、最近は面倒で時間もないので買ってくるのですが、フィルターを使っています。フリーズではバナナが好きです。

研究者を選んだ人生を漢字一文字で表すと?

旅

おおその目標や目的、目的地は決まっているけれど、なかなか思うようにはいかない。途中で忘れてしまったり、研究よりもおもしろいことに誘惑されたり。前に進んだと思っていたら、追い越されて後ろに下がっていることもある。それでも、あーだこーだと試行錯誤しながら、信じる道を進んでいくのが人生だし、いろんな場所で行く人々と出会いながら、多くの人に助けられて研究者人生を歩んでいけるのは正に旅だと思っています。

ここがワタシの研究室★



研究室はし号館の3階、19㎡の部屋が一つしかありません(狭いです!)。パソコンがたくさんありますねとよく学生に言われます。パソコンが好きなおけではないのですが、WindowsとMacのパソコンが何台分あります。建物が古いので、窓のサッシからは隙間風や砂ぼこりが入ってくるのですが、よいところは窓から富士山が見えること。県外出身者(長崎県)なので、富士山が見えるとその日は一日気分がよいです。



09 Chiaki Hasegawa

NASHIDAI Researchers



教育人間科学部 言語文化教育講座 准教授
長谷川千秋さん

Profile

奈良女子大学文学部卒業
奈良女子大学大学院文学研究科修了
(修士課程)
奈良女子大学大学院人間文化研究科修了
(博士課程)後、現職。
取得学位：博士(文学)

Career

大学卒業→大学院修士課程修了→大学院修士課程修了・学位取得→講師→准教授

私の研究はコレ!

日本語文字表記史 音韻史の研究

日本語の仮名表記の歴史と、仮名と音韻の相関性について研究を行っています。仮名は表音文字のため、仮名の表記システムは音韻変化の影響を受けています。それで、例えば、音韻変化によって生じた発音と表記のずれを、仮名表記はどのように解消し、新しい表記システムを獲得していくのか、ということを考えています。

ここが魅力でやめられない!

自分の使っていることばの成り立ちがわかった瞬間、そのことばに対する心持が豊かなものに変わります。私の仕事は、「ことばの生い立ち」を明らかにすることを通して、現在と過去のことばや文化を繋げていく作業であるように思えます。そんな魅力でできるだけ多くの人に発信できたらと思っています。

「ことば」と「私」が 向き合う瞬間

大変なことも、たまにはあるさ

大変なときほど 気分転換を するようにしています

日々大変だ、てんやわんやとか言っているわりに比較的楽しく過ごしているのは、トラブルが発生しても、研究や趣味に没頭することでそれを忘れる時間が持てるからでしょうか。でも、多忙なときの時間のやりくりだけはどうにもなりません。片付いたら〇〇をしようとかあれこれ妄想して、ひたすら耐えます。

My favorite things!

コレがあるから頑張れる!

大変なときを乗り越えたり、いい研究成果を残すにはちょっと気分転換も必要。ここでは研究者達の頑張るヒケツを教えちゃいます★

研究の マストアイテム



ペンケース

マストという意識はなかったけれど、仕事ではいつもこのペンケースを持ち歩いています。小さなポケットにメモリーが入られるので便利です。図書館などで古書本を見るときは、ペンが使用禁止で、鉛筆と鉛筆削りを入れて持っています。

ココロの癒し

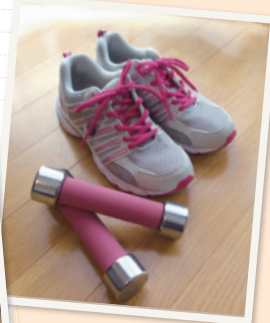


小さな旅

ほいと思いついて小さな旅をするのが好きです。旅といっても、ほんの半日くらいだったりしますが、美しい景色を見て癒されて帰ってきます。少し遠出をした時には、知らなかった美味しい食べ物、地酒との出会いが楽しみです。

ストレス解消法!

体を動かすもの 色々



最近になって、体を動かすことがとても楽しくなってきました。今までスポーツは観戦専門だったのですが、何をするにも体が資本なので始めました。自分にできるストレッチや筋トレ、ジョギングなどで汗を流しています。

研究者を選んだ人生を 漢字一文字で表すと?

選

研究者を志すきっかけとなったのは、学部2年生のときの国語学の講義でした。「選」字の原義は「後に続いて追いかける」です。先人の後を追いかけて、研究者になることを自分で選んだ、という意味で「選」字を。でも、漢字一文字で人生を表すのは難しい...

ここがワタシの 研究室♥



本と書類に囲まれた研究室です。書類はあっという間に増殖するので、たちまち机の上が書類だらけになってしまいます。今回、かなり掃除しました...



遺伝子の仕組みを解き明かし、医療の発展に貢献

10 Takeo Kubota

NASHIDAI Researchers

医学部 環境遺伝医学講座 教授
久保田 健夫さん

Profile

北海道大学医学部卒業
昭和大学大学院医学研究科修了
取得学位：医学博士（小児科学）
昭和大学病態小児科助手、富士吉田市立病院小児科医師、
長崎大学医学部原爆後遺症医療施設遺伝学部門研究生、
米国ベラール医科大学分子遺伝学部門研究員、米国 NIH 国
立ヒトゲノム研究所研究員（シカゴ大学遺伝医学部門研究
顧問を兼務）、帰国後、信州大学医学部衛生学講座助手、
信州大学医学部附属病院遺伝子診療部助手、国立精神・神経
センター神経研究所勤務を経て、現職。

Career

大学卒業→大学院博士課程修了→大学病院助手→市立病院
医師→他大学医学部研究生→結婚→他大学研究員→お子さ
の誕生→研究所研究員→助手→お子さんの誕生→助手→
研究所勤務→お子さんの誕生→教授



私の研究はコレ!

遺伝子やDNAの謎を
解き明かし、
精神疾患や糖尿病の
治療薬を開発する!

遺伝子やDNAと聞くと親から受け継いだ変えようのないものと思う方が多いかもしれませんが、しかし遺伝子はDNA上でその働きをダイナミックに変えているのです。このような遺伝子の動的変化を調節するしくみをエピジェネティクスとよんでいます。最近、精神ストレスや暴飲暴食がこの仕組みに異常をもたらし、精神疾患や糖尿病の発症につながっていることが分かってきました。この仕組みをさらに解明し、治療薬を開発することが私の研究テーマです。

ここが魅力でやめられない!

もともと新生児医療専門の小児科医であった私は、遺伝病の赤ちゃんを何とかしたいという思いで遺伝学の世界に入りました。そこで遺伝子の調節の仕組みであるエピジェネティクスを知りました。壊れた遺伝子は元に戻すことが容易ではないのですが、エピジェネティクスには可逆性があるため、異常な状態を元の良い状態に戻すことが可能であり、その修復法が開発されつつあります。このような技術を、近年日本で増えつつある発達障害、精神疾患、糖尿病の患者さんに届けることが自分の夢であり、今、この夢の魅力に取り憑かれて研究をしています。

患者さんを
救うために

大変なことも、たまにはあるさ

研究者は
自由と苦しみを
併せ持つ!

医療の現場では、失敗は許されないで、これまで十分に培った間違いのない方法が使われます。しかし研究はまだわかっていないことを明らかにするものであり、うまくいくことが保証されている訳ではありません。また実験のほとんどは期待した結果ではなく、期待はずれに終わります。また研究者は遊んでいても誰も困らない職業ですが、研究費を獲得し研究を続けていくためには、このような苦しい状況でも結果を出していかなければなりません。研究者とは自由と苦しみを併せ持つ職業だと思っています。

My favorite things!

コレがあるから頑張れる!

大変なときを乗り越えたり、いい研究成果を残すにはちょっと気分転換も必要。ここでは研究者達の頑張るヒケツを教えちゃいます★



研究の
マストアイテム

ラップトップパソコン

出張が多いので、いつも電車や飛行機の中の友達です。これで多くの仕事をこなしています。



気分転換



朝の散歩

近くの公園でジョギングをしたり、自宅の裏山に登って降りてくるのが朝の日課になっています。



ココロの癒し

温泉

甲府は日帰り温泉が多く、朝に、晩に、行って、絶えずリフレッシュしています。

研究者を選んだ人生を漢字一文字で表すと?

幸

苦しい反面自由を謳歌できること、研究を通じて国内外に多くの友人ができること、家庭を大事にできることなどから、今、これまでの人生をふりかえって、幸せだと思っています。

これがワタシの作業部屋★



部屋はなるべくすっきりと……でも忙しいとPCに付箋が増えていきます。



11 Satoko Nakagomi

NASHIDAI
Researchers

医学部 成育看護学講座 教授
中込 さと子さん

Profile

信州大学医療技術短期大学卒業
聖路加看護大学卒業
聖路加看護大学大学院看護学研究科修了
取得学位：博士(看護学)

Career

助産師として山梨医科大学(現山梨大学) 医学部
附属病院勤務後、兵庫県立大学、山梨県立大学、
広島大学で看護学教育・研究・社会活動に従事。
広島大学病院遺伝子診療部で8年間、遺伝カウ
ンセリングに従事しながら遺伝相談体制、支援体制
づくりを経験。現在に至る

License

看護師 助産師 保健師資格
認定遺伝カウンセラー資格



私の研究はコレ!

遺伝カウンセリング、
ケアに関する研究

私の関心は遺伝カウンセリングや遺伝性疾患をめぐる人々の体験に基づ
くケア・システムづくりです。遺伝性疾患や先天性の疾患の当事者には診
断技術や治療研究だけでは解決できない課題があります。当事者の心
の中にあるものを探ること、社会の人々の反応を探ること、支えあうた
めの地域システムを提案すること、が私の研究です。

ここが魅力でやめられない!

この領域の臨床や研究をしていると、試練を乗り越えた方々が前
を向いて歩みだす表情に出会えます。自分の幸せだけでなく、周
りの人々への愛にあふれた素敵な人たちと出会えます。

純粹で
強い人たちとの出会い

大変なことも、たまにはあるさ

喜ぶ者と喜び、
泣く者と共に泣く

遺伝カウンセリングの場面では、遺伝性疾患をめぐる人の優しさ、強
さ、厳しさ、苦悩に光が当てられます。時には進むべき道がわからな
くなることもあります。遺伝カウンセリングの相談者だけでなく、医
療者や支援者であっても、課題を1人だけで抱えないようチームや仲
間で課題を分かち合うことが大切だと思います。

My favorite things!

コレがあるから
頑張れる!

大変なときを乗り越えたり、
いい研究成果を確すには
ちよっと気分転換も必要☆
ここには研究者達の頑張るヒケツを
教えちゃいます☆



研究の
マストアイテム!

PCなど

今は研究仲間も活動中なので多くが
県外に住んでいますのでメールは欠かせません。

私の癒し



両親とのんびり過ごす休日

両親が元気でいてくれるこの時間を
大切にしたいと思っています。



リラクゼーションなら
コレ

音楽

今、ハンドベルをしています。演奏に求めら
れるのは打ち方技術より
も「心の一致」です。

従

研究者を選んだ人生を
漢字一文字で表すと?

人は神様が創造された目的によって生かされて
いると信じているので、自身に与えられたことは
何かを問いつながら従っていいことと思っています。

ここがワタシの
研究室



大切な人からの贈り物の壁か
けを付けています。「わたしの目
にはあなたは高価で尊い。わた
しはあなたを愛している。イザヤ
43:4」

ちょっと話

ダウン症候群や先天性で乳児期に亡くなる子どもが身近にいたことから、個人の個性、個人をめぐり人間関係、人生の価値形成と選択を
肌で学んできました。学生時代には、エイズ患者や外生殖器移植物の臓器移植をめぐる苦悩を目の当たりに。大学院では様々な先天性異常
を持つお子さんご家族の人生のスタートのケアにも関わりました。そんな経験をした1990年に交差する人々の心に寄り添う医療を志しています。



熱エネルギーを制し、生活に活かす！

12 Koji Toriyama

NASHIDAI Researchers

工学部 機械工学科 准教授
鳥山 孝司さん

Profile

山梨大学工学部機械システム工学科卒業
同大学大学院工学研究科修士課程修了
同大学大学院医学工学総合教育部博士課程修了
取得学位：博士（工学）
山梨大学工学部助手、助教を経て現職。

Career

大学卒業→大学院修士課程修了→助手→結婚
→お子さんの誕生→社会人博士として博士課程に入学・修了・学位取得→助教→准教授

私の研究はコレ！

熱エネルギーに関する研究

身の周りには近代的なもの、例えば車、パソコン etc などの機器は、絶えず熱が発生していて冷却が必要となっています。この熱を効果的に冷却する手法や、回収した熱を他に利用するといった形で省エネルギー化を進めるといった研究を行っています。また、この研究に必要な熱の計測技術や数値シミュレーションのための解析プログラムの開発も行っています。

ここが魅力でやめられない！

期待通りに重かった時の感動

学生時代は主に数値シミュレーションを行っていたこともあり、今も解析プログラムの作成が研究活動の大半を占めています。期待通りに重くないことが常で、バグを修正することや新たな手法の導入など試行錯誤の繰り返しです。なので、期待通りに重いてくれた時には涙が出るぐらいうれしいです。制御機器用に電子回路を組んだ時も同様で、正常に動作したときは感動もんです。

大変なことも、たまにはあるさ

ガッツリ取り組みたいのには

論文やプログラムを書くときは、数時間は集中して取り組まないと進みません。割り込みの仕事がやってきて、折角かかったエンジンがストップしてしまうことも日常茶飯事。雑務や教育などでガッツリ取り組む時間が確保できない時も多く、ストレスが溜まります。こんなときは実験室（地下室）に籠って、周りからの連絡手段を全て絶ってしまうことも。他人に迷惑をかけてしまうので、めったにできませんが……

My favorite things!

コレがあるから頑張れる！

大変なときも乗り越えたり、いい研究成果を収めるにはちょっと気分転換も必要。ここでは研究者達の頑張るヒケツを教えます！

ストレス解消法！



ランニングシューズ (トレイルランシューズ)

週に2回ほど気分転換に長い距離を走りに行っています。汗と共にストレスも流すって形で、トレイルランシューズを履いて、山の中を走るのも気分転換にいいですね。今年の富士登山競走（山頂コース）で完走した際の頂上からの景色は最高でした。

こころの癒し



アルコール (酒)

「休肝日って何それ？」ってぐらいほぼ毎日飲んでいます。一日をほろ酔いで締めるのがストレスフリーになるということで、これが私の健康法。学生時代はビールを2人で1ケース空けたこともありましたが、今はそれほど飲めなくなりました。

研究者を選んだ人生を漢字一文字で表すと？

廻

子どもの頃、なんでも発明する Dr. スランプアラちゃんの則巻千兵衛にあこがれて博士になりたいと思っていました。その後走ることのめり込んでいったわけですが、廻り廻って最終的には博士の道を選ぶことになるのは大学在学中、考えてすらいませんでした。

ここがワタシの研究室★



仕事に熱中すると、書類やら本やらがPC周りに散らばり始める。撮影の時には瞬間的にささっと(笑)



人の生活に生きるシステムを！

NASHIDAI
Researchers

13 Hiromi Watanabe

工学部 情報メカトロニクス工学科 助教
渡邊寛望さん

Profile

山梨大学工学部電気電子システム工学科卒業
同大学院電気電子システム工学専攻修了
同大学院医学工学総合教育部人間環境医工学
専攻（博士課程）修了
取得学位：博士（医工学）
博士課程修了後、現職。

Career

大学卒業→大学院修士課程修了→大学院博士
課程修了・学位取得→助教→結婚→出産



私の研究はコレ！

視覚に
関する研究

人間は色、形、距離など目から多くの情報を得ています。私は、カメラなどのセンサを用いて、これらの情報を取得する装置を研究開発しています。具体例としては、視覚障害者の方を目的地まで安全にナビゲーションする装置の研究開発を行っています。さらに、錯視や錯覚などの視覚特性についても研究を始めています。

ここが魅力でやめられない！

人間の賢さに
感心

ロボットはモノの特徴を教えられることで、教えられたモノが認識できたかのように振る舞うことができます。でも、教えられた特徴を外れると、認識できなくなる。ところが、人間は自分で考え、学ぶことができます。さらに、多くの情報を一度に処理しています。人間は賢い！と感心するとともに、ロボットが少しずつ人間に近づいていく様子がとてもおもしろいと感じています。

大変なことも、たまにはあるさ

人間の
多様性に苦しむ

研究は思い通りにいかないことが多く、なぜ、そうなったのかを考えて、修正し、再実験を繰り返しています。特に、人を認識しようとする場合は、人によって服装、体型、歩き方等、多くが異なるため、失敗も多いです。…人間は賢いけれど、その多様性をロボットに教えることは簡単ではないなと日々、感じています。

My
favorite
things!

コレがあるから
頑張れる！

大変なときを乗り越えたり、
いい研究成果を残すには
ちょっと気分転換も必要☆
ここでは研究者達の頑張るヒケツを
教えます！



研究の
マストアイテム

ノートと
ボールペン

情報を1か所に集中して、忘れないために、気に入ったことは何でもこのノートにメモしています。さらに、修正過程や思考過程を消さずに残しておくために、鉛筆ではなく、ボールペンを使用しています。

ストレス解消法！



おいしいごはん

節目のときには、近所のいつものレストランでおいしいごはんを食べることになっています。おいしいものを食べて、また頑張ろうと思います。

リラックスするなら
コレ！



香り付き
ハンドソープ

気分転換したいときに使います。手を洗いながら考えをまとめたり、気持ちを切り替えたりするんです。洗い終わったら、さっぱりした気分になりますね。

研究者を選んだ人生を
漢字→文字で表すと？

感

研究を通して様々な発見に「感心」し、成長させた成果に「感動」し、現在に至るまで支えてくれた方々、今も支えてくれている人達に、日々、「感謝」しています。

ここがワタシの
研究室



入口側の机とホワイトボードを使って、学生との討論や来客対応をします。プロジェクタや採点作業等は別の机で行います。研究資料や授業資料等、採点時間を短縮するためにも、整理整頓を心がけています。

